臺灣日日新報 第一萬三千七百五十九號 昭和十三年七月九日（日曜日） （明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）

臺灣新民報 夕刊

七月九日 夕刊定価一部二錢

靴を丈夫にする
サンエッチ靴クリーム

強力手段を執る
罰則規定も強化
物品販賣價格取締規則公布

【東京九日發同盟】商工省では物價騰貴防遏對策の實行に從ひ重要物資の公定價格を相當いで決定されるに伴ひこれを公定價格とするに決し、このため輸入品價格統制法第二條に基き物品販賣價格取締規則なる勅令を制定九日公布即日實施した、同規則に依り商工大臣が指定した勅令品については其の販賣價格の取締を嚴重ならしめ違反者は五千圓以下の罰金に處せられることとなつた、これは即ち小賣に關するもので物品の賣、小賣價格に對する全面的な公定制と見るべきものである、尙これに依り既に指定した綿絲布、綿織物、燐寸、セメント、木材、非鐵金屬に關し同樣公定價格が布したので茲に三十二品目に、紙、製鹽、硫安、重曹、電球、電池、石鹼、セルロイド、琺瑯鐵器、ゴム製品、ガラス製品、陶磁器、マッチ、ミシン、自轉車、タイヤ、チューブ、ベルト、地下足袋、軍需品及び農耕品（農業用機械は除く）は制限外に置かれ、目下加工中のゴム長靴、ゴム底靴は政府の指定した勅令品については其の販賣價格

敵機六機の中へ 単機で追ひ縋る

安慶上空で我が荒鷲活躍

【安慶九日發同盟】八日午後七時十分頃敵カーチスホーク六機が編隊で小隊に安慶上空に襲来、二千五百米の高度で爆撃を試みんとしたが我が江上、地上相呼應する

【安慶八日發同盟】八日午後七時頃安慶上空多數の敵機が編隊で飛来した旨報告あるや我が江上、地上相呼應する防空砲火の猛射を浴びて敵機は次々に退散したが、その一機は我が江上の蘆洲に墜落したのを我が守備隊に發見されるや我が守備隊は直ちに現場に急行、機上より搭乗員を引摺り出して捕虜とした

【安慶九日發同盟】八日午後七時頃安慶上空多數の敵機が編隊で飛来した旨報告あるや我が江上、地上相呼應する防空砲火の猛射を浴びて敵機は次々に退散したが、その一機は我が江上の蘆洲に墜落したのを我が守備隊に發見されるや我が守備隊は直ちに現場に急行、機上より搭乗員を引摺り出して捕虜とした

パイロットを逮捕

撃墜された敵機の中尉

【安慶九日發同盟】八日午後七時頃安慶上空多數の敵機が編隊で飛来した旨報告あるや我が江上、地上相呼應する防空砲火の猛射を浴びて敵機は次々に退散したが、その一機は我が江上の蘆洲に墜落したのを我が守備隊に發見されるや我が守備隊は直ちに現場に急行、機上より搭乗員を引摺り出して捕虜とした

虚弱兒童には 海、山何れがよいか

夏休と兒童の保健について

醫學博士　佐藤享

夏期休暇に入ると大都市の小學校の中には臨海、林間學校を開く向もあり、國民精神の保健、體位向上については、近年著しく關心が向けられて來ました。一般家庭でも兒童の許す限り、國民精神を海または山へ遊ばせることはいいのですが、それについて佐藤醫學博士のお話を次に――

◇

都市の各小學校で例年海へ、山へ、樂しい夏期學校を開かれることはまことによろしいことで、緊外線の利用と空氣イオンの利用という点から兒童の體位向上の為に結構なことは申すまでもありません

◇

しかし、それぞれの子供の體質によっては海の方が比較的よい場合もありませうし、山を選ぶ方が適してゐる事もあると思はれますが、四方海に圍まれてゐる日本では海へ行く交通關係が發達してゐるので大勢行き易い觀があります

◇

それに一般に海の方が食物が新鮮で種類も豐富であって、何よりも鹽分を含んだ海水の皮膚に與へる刺戟が貴いのです。その上海水浴關係も多く大抵の所では醫務機關も備つてゐるので設備には海の方が歩があることになります

◇

また過激な運動や刺戟の强いことを禁物とする心臟や血管に故障のある者は海は避けた方がよろしい。但し心臟が結核性素因のある者は、寒水浴さへしなければ、やはり海岸の方が效果が多いのです

◇

これに反し山は氣候の激變が多く霧が度々下りて濕氣に富み、適當の注意を怠ると呼吸器病患者は風邪をひくおそれがあります。しかし山の方は子供が疲勞を知らずに遊び廻って體をこわす事もなく、景色保養してお腹を惡くすることは少いやうです

◇

要するに、神經質の子供には靜かな山の方がよいやうです

◇

しかし、海、山何れにしても、兒童の保健上注意しなければならないことは、食物の衞生であります。海水浴の場合は、海水が汚れてゐるために傳染病の媒介をすることがあります。また山の場合は、食物の腐敗しやすいことに注意しなければなりません

◇

江戸桃花陣 (79)

海音寺潮五郎作
富永謙太郎畫

野獣の群（十一）

相手の組打に移して、甲之介は意外に苦戦した。

「悪党の借銭より善人の借銭の方が借用せられるべきだ。何も云はずに、先づ、わしを屋敷に連れて帰れ。そしたら、その場で金は渡してやらう。あとで取へるなどいふことは云つてゐぬ。どうだ」

相手は黙つてゐた。そして首ひねつて思案してゐたが、突如両手を挙げて何やら合図すると三吉郎は黙つて、また組打をはじめにかかつた。

「どうした。決心がつかぬのか」

といふと、豊吉は思ひ切り、組打ちの体勢を立て直した。

「殺すのがよいことか悪いことか知れぬが、殺さねばならぬ。殺すのが悪いとすれば、殺さねばならぬ様な事態を作つた者が悪いのだ

臺灣日日新報（第二版）　（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十三年七月十日（日曜日）　臺灣日日新報　第一万三千七百五十九號　A　（一）

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

臺北市榮町三丁目十番地　臺灣日日新報社　電話代表八〇〇一番　振替口座臺北二番

共産黨が國民黨に 首腦者の入黨を要求

蔣一人でも可と主張

【北京九日發同盟】國民參政會第四屆第一次大會は、國民參政員二百餘名が參集、國歌齊唱中國の進路リーダーの國民參政會組織大綱を決定した後、二九國共合作の現狀に鑑み、國民參政會の共產黨入黨を要求してゐると言はれる。右に關する新聞の報道は全然不明であるが共產側では國民參政會組織大綱の入黨が不可能ならば蔣一人代表となつて入黨すべしと主張してゐるとも言はれ、國共合作につき共產側では飽まで現狀の立場に於け國民參政會の組織を堅持してゐる現狀より押し切る氣配はあり得ることとされてゐる

海の荒鷲への感狀 畏くも上聞に達す

中南支の空に赫々の武勳

【東京九日發同盟】中南支の空を縦横に活躍しあくの殊勳を樹てた海の荒鷲松井大尉指揮の水上偵察機及び〇〇機に對し本年四月當時兵部同令長官より各々感狀を授與されたが、この感狀の一通はこの程陸くも聞に達したので、九日午後二時大本營海軍報道部より發表された

松井大尉指揮の第〇〇及び〇〇水上偵察機隊は去る一月八日第一次南昌攻略の際同地で敵格納庫兵舍等を爆撃炎上せしめ、又各中隊單獨で敵戰闘機一機を撃墜、同日更に同地を空襲して敵の十機と交戰してその五機を撃墜、更に九日も二回南昌を攻撃、地下の五機を破壊兵舍、格納庫等に大損害を與へた、十日には長陽附近を空襲、格納庫、兵舍を爆破した外、敵戰闘機數機と交戰、その一機を撃墜した、〇〇航空隊は三月十四日夜廣東南昌の敵戰闘機場を攻撃、全機を以て爆撃攻撃し十五日は終夜に亘り連日二回、南昌を三回、十六日夜も連日、南昌に對し反復攻撃に從事したが、敵の全力を以て防禦を固して〇〇航

武勳輝く兩將軍參內

徐州大會戰を通ぜる北支各戰線に於ける武勳を樹てて歸還の五日陸軍中將香月清司、同じく中將に昇進した第五師團長板垣征四郎兩將軍は八日午前十時宮城内に參内、天皇陛下に謁見仰付けられた、兩將軍は謁見後直ちに宮内省、左大臣原邸、參謀總長閑院宮殿下、東條陸相、梅津參謀次長、杉山陸相、多田參謀次長、畑軍事參議官、板垣

北支産業の劃期的發展ぶり
事變後の足跡に見る

（下）

他方北支の開村は昨年の民國六年以來といはるる大水害と不況從來による戰禍に惱み北支八千万民衆の八割二分を占める農民は疲弊のドン底にある、この窮民を救ひ開村購買力の回復を圖ることは北支開發の基礎工作として當局の急務である、ここに殘存政府は日本當局と提携して、產業開發の施策に着手、之が實現を圖るべく全力を注いでゐる、即ち殘存政府は行政委員會に實業部（經濟部と改稱す）及び建設委員會を設け昨年七月以來約百万圓の豫算を以て主として北支產業の開發を圖つてゐる、この點の主なるものを擧げると

これは我が滿洲國の經驗によつて昨秋十一月初め第十一、陸八箇百万人の努力を以て北京市郊外をめぐる十二本の放射道路と五本の環狀道路を新設したものである、日本陸軍當局の指導の下に約一箇月半乃至三箇月、十二月上旬から翌年三月下旬に亙る突貫工事で完成した

他方日本側は農村經濟復興委員會より五十万圓、金融農業配給のため滿洲より二十万圓を資給したのを始め、農民、教育の各部を供して打つて開民救濟及び共產黨關係の文獻資料を北支各地から沒收燒却して新文化建設の發端たる啟蒙運動に着用する目的をとつて北京に新民學院を開設し昨年十一月より一期生二百名の收容を終つたが、更にこれを一新し引續き第二期生の收容を行ふべく、この外北支の文化工作として學校教育の普及、學校教科書の改訂、新聞雜誌の統制、北支の文化人を網羅する中央文化協會の設立等を擧げることが出來る

北支の復興に教育文化面に於ける施設である、日支提携の根本精神はここにあるわけで時局收拾後に於ても此の點に關しては最も根强くある譯であらう、支那當局者は勿論、支那國民全般に亙つて新民主義の啟蒙に努めてゐるが、この一年の短い經驗は眼に見える效果を擧げてゐる

北京大學を總合大學として醫、農、工、法、文、理、教育等の各分科大學、北京師範大學を教育大學として獨立、北京農業專門學校を農學院として獨立、北京醫學專門學校を醫學院として獨立、北京工業專門學校を工學院として獨立、北京女子師範學校を女子師範學院として獨立、北京藝術專門學校を藝術學院として獨立、北京法政專門學校を法學院として獨立、北京高等師範學校を師範學院として獨立、北京大學第二院を文學院として獨立、北京大學第三院を理學院として獨立、北京大學第四院を法學院として獨立、北京大學第五院を醫學院として獨立、北京大學第六院を農學院として獨立、北京大學第七院を工學院として獨立、北京大學第八院を藝術學院として獨立、北京大學第九院を師範學院として獨立、北京大學第十院を文學院として獨立、北京大學第十一院を理學院として獨立、北京大學第十二院を法學院として獨立、北京大學第十三院を醫學院として獨立、北京大學第十四院を農學院として獨立、北京大學第十五院を工學院として獨立、北京大學第十六院を藝術學院として獨立、北京大學第十七院を師範學院として獨立、北京大學第十八院を文學院として獨立、北京大學第十九院を理學院として獨立、北京大學第二十院を法學院として獨立、北京大學第二十一院を醫學院として獨立、北京大學第二十二院を農學院として獨立、北京大學第二十三院を工學院として獨立、北京大學第二十四院を藝術學院として獨立、北京大學第二十五院を師範學院として獨立、北京大學第二十六院を文學院として獨立、北京大學第二十七院を理學院として獨立、北京大學第二十八院を法學院として獨立、北京大學第二十九院を醫學院として獨立、北京大學第三十院を農學院として獨立、北京大學第三十一院を工學院として獨立、北京大學第三十二院を藝術學院として獨立、北京大學第三十三院を師範學院として獨立、北京大學第三十四院を文學院として獨立、北京大學第三十五院を理學院として獨立、北京大學第三十六院を法學院として獨立、北京大學第三十七院を醫學院として獨立、北京大學第三十八院を農學院として獨立、北京大學第三十九院を工學院として獨立、北京大學第四十院を藝術學院として獨立、北京大學第四十一院を師範學院として獨立、北京大學第四十二院を文學院として獨立、北京大學第四十三院を理學院として獨立、北京大學第四十四院を法學院として獨立、北京大學第四十五院を醫學院として獨立、北京大學第四十六院を農學院として獨立、北京大學第四十七院を工學院として獨立、北京大學第四十八院を藝術學院として獨立、北京大學第四十九院を師範學院として獨立、北京大學第五十院を文學院として獨立、北京大學第五十一院を理學院として獨立、北京大學第五十二院を法學院として獨立、北京大學第五十三院を醫學院として獨立、北京大學第五十四院を農學院として獨立、北京大學第五十五院を工學院として獨立、北京大學第五十六院を藝術學院として獨立、北京大學第五十七院を師範學院として獨立、北京大學第五十八院を文學院として獨立、北京大學第五十九院を理學院として獨立、北京大學第六十院を法學院として獨立、北京大學第六十一院を醫學院として獨立、北京大學第六十二院を農學院として獨立、北京大學第六十三院を工學院として獨立、北京大學第六十四院を藝術學院として獨立、北京大學第六十五院を師範學院として獨立、北京大學第六十六院を文學院として獨立、北京大學第六十七院を理學院として獨立、北京大學第六十八院を法學院として獨立、北京大學第六十九院を醫學院として獨立、北京大學第七十院を農學院として獨立、北京大學第七十一院を工學院として獨立、北京大學第七十二院を藝術學院として獨立、北京大學第七十三院を師範學院として獨立、北京大學第七十四院を文學院として獨立、北京大學第七十五院を理學院として獨立、北京大學第七十六院を法學院として獨立、北京大學第七十七院を醫學院として獨立、北京大學第七十八院を農學院として獨立、北京大學第七十九院を工學院として獨立、北京大學第八十院を藝術學院として獨立、北京大學第八十一院を師範學院として獨立、北京大學第八十二院を文學院として獨立、北京大學第八十三院を理學院として獨立、北京大學第八十四院を法學院として獨立、北京大學第八十五院を醫學院として獨立、北京大學第八十六院を農學院として獨立、北京大學第八十七院を工學院として獨立、北京大學第八十八院を藝術學院として獨立、北京大學第八十九院を師範學院として獨立、北京大學第九十院を文學院として獨立、北京大學第九十一院を理學院として獨立、北京大學第九十二院を法學院として獨立、北京大學第九十三院を醫學院として獨立、北京大學第九十四院を農學院として獨立、北京大學第九十五院を工學院として獨立、北京大學第九十六院を藝術學院として獨立、北京大學第九十七院を師範學院として獨立、北京大學第九十八院を文學院として獨立、北京大學第九十九院を理學院として獨立、北京大學第百院を法學院として獨立、北京大學第百一院を醫學院として獨立、北京大學第百二院を農學院として獨立、北京大學第百三院を工學院として獨立、北京大學第百四院を藝術學院として獨立、北京大學第百五院を師範學院として獨立、北京大學第百六院を文學院として獨立、北京大學第百七院を理學院として獨立、北京大學第百八院を法學院として獨立、北京大學第百九院を醫學院として獨立、北京大學第百十院を農學院として獨立、北京大學第百十一院を工學院として獨立、北京大學第百十二院を藝術學院として獨立、北京大學第百十三院を師範學院として獨立、北京大學第百十四院を文學院として獨立、北京大學第百十五院を理學院として獨立、北京大學第百十六院を法學院として獨立、北京大學第百十七院を醫學院として獨立、北京大學第百十八院を農學院として獨立、北京大學第百十九院を工學院として獨立、北京大學第百二十院を藝術學院として獨立、北京大學第百二十一院を師範學院として獨立、北京大學第百二十二院を文學院として獨立、北京大學第百二十三院を理學院として獨立、北京大學第百二十四院を法學院として獨立、北京大學第百二十五院を醫學院として獨立、北京大學第百二十六院を農學院として獨立、北京大學第百二十七院を工學院として獨立、北京大學第百二十八院を藝術學院として獨立、北京大學第百二十九院を師範學院として獨立、北京大學第百三十院を文學院として獨立、北京大學第百三十一院を理學院として獨立、北京大學第百三十二院を法學院として獨立、北京大學第百三十三院を醫學院として獨立、北京大學第百三十四院を農學院として獨立、北京大學第百三十五院を工學院として獨立、北京大學第百三十六院を藝術學院として獨立、北京大學第百三十七院を師範學院として獨立、北京大學第百三十八院を文學院として獨立、北京大學第百三十九院を理學院として獨立、北京大學第百四十院を法學院として獨立、北京大學第百四十一院を醫學院として獨立、北京大學第百四十二院を農學院として獨立、北京大學第百四十三院を工學院として獨立、北京大學第百四十四院を藝術學院として獨立、北京大學第百四十五院を師範學院として獨立、北京大學第百四十六院を文學院として獨立、北京大學第百四十七院を理學院として獨立、北京大學第百四十八院を法學院として獨立、北京大學第百四十九院を醫學院として獨立、北京大學第百五十院を農學院として獨立、北京大學第百五十一院を工學院として獨立、北京大學第百五十二院を藝術學院として獨立、北京大學第百五十三院を師範學院として獨立、北京大學第百五十四院を文學院として獨立、北京大學第百五十五院を理學院として獨立、北京大學第百五十六院を法學院として獨立、北京大學第百五十七院を醫學院として獨立、北京大學第百五十八院を農學院として獨立、北京大學第百五十九院を工學院として獨立、北京大學第百六十院を藝術學院として獨立、北京大學第百六十一院を師範學院として獨立、北京大學第百六十二院を文學院として獨立、北京大學第百六十三院を理學院として獨立、北京大學第百六十四院を法學院として獨立、北京大學第百六十五院を醫學院として獨立、北京大學第百六十六院を農學院として獨立、北京大學第百六十七院を工學院として獨立、北京大學第百六十八院を藝術學院として獨立、北京大學第百六十九院を師範學院として獨立、北京大學第百七十院を文學院として獨立、北京大學第百七十一院を理學院として獨立、北京大學第百七十二院を法學院として獨立、北京大學第百七十三院を醫學院として獨立、北京大學第百七十四院を農學院として獨立、北京大學第百七十五院を工學院として獨立、北京大學第百七十六院を藝術學院として獨立、北京大學第百七十七院を師範學院として獨立、北京大學第百七十八院を文學院として獨立、北京大學第百七十九院を理學院として獨立、北京大學第百八十院を法學院として獨立、北京大學第百八十一院を醫學院として獨立、北京大學第百八十二院を農學院として獨立、北京大學第百八十三院を工學院として獨立、北京大學第百八十四院を藝術學院として獨立、北京大學第百八十五院を師範學院として獨立、北京大學第百八十六院を文學院として獨立、北京大學第百八十七院を理學院として獨立、北京大學第百八十八院を法學院として獨立、北京大學第百八十九院を醫學院として獨立、北京大學第百九十院を農學院として獨立、北京大學第百九十一院を工學院として獨立、北京大學第百九十二院を藝術學院として獨立、北京大學第百九十三院を師範學院として獨立、北京大學第百九十四院を文學院として獨立、北京大學第百九十五院を理學院として獨立、北京大學第百九十六院を法學院として獨立、北京大學第百九十七院を醫學院として獨立、北京大學第百九十八院を農學院として獨立、北京大學第百九十九院を工學院として獨立、北京大學第二百院を藝術學院として獨立、北京大學第二百一院を師範學院として獨立、北京大學第二百二院を文學院として獨立、北京大學第二百三院を理學院として獨立、北京大學第二百四院を法學院として獨立、北京大學第二百五院を醫學院として獨立、北京大學第二百六院を農學院として獨立、北京大學第二百七院を工學院として獨立、北京大學第二百八院を藝術學院として獨立、北京大學第二百九院を師範學院として獨立、北京大學第二百十院を文學院として獨立、北京大學第二百十一院を理學院として獨立、北京大學第二百十二院を法學院として獨立、北京大學第二百十三院を醫學院として獨立、北京大學第二百十四院を農學院として獨立、北京大學第二百十五院を工學院として獨立、北京大學第二百十六院を藝術學院として獨立、北京大學第二百十七院を師範學院として獨立、北京大學第二百十八院を文學院として獨立、北京大學第二百十九院を理學院として獨立、北京大學第二百二十院を法學院として獨立、北京大學第二百二十一院を醫學院として獨立、北京大學第二百二十二院を農學院として獨立、北京大學第二百二十三院を工學院として獨立、北京大學第二百二十四院を藝術學院として獨立、北京大學第二百二十五院を師範學院として獨立、北京大學第二百二十六院を文學院として獨立、北京大學第二百二十七院を理學院として獨立、北京大學第二百二十八院を法學院として獨立、北京大學第二百二十九院を醫學院として獨立、北京大學第二百三十院を農學院として獨立、北京大學第二百三十一院を工學院として獨立、北京大學第二百三十二院を藝術學院として獨立、北京大學第二百三十三院を師範學院として獨立、北京大學第二百三十四院を文學院として獨立、北京大學第二百三十五院を理學院として獨立、北京大學第二百三十六院を法學院として獨立、北京大學第二百三十七院を醫學院として獨立、北京大學第二百三十八院を農學院として獨立、北京大學第二百三十九院を工學院として獨立、北京大學第二百四十院を藝術學院として獨立、北京大學第二百四十一院を師範學院として獨立、北京大學第二百四十二院を文學院として獨立、北京大學第二百四十三院を理學院として獨立、北京大學第二百四十四院を法學院として獨立、北京大學第二百四十五院を醫學院として獨立、北京大學第二百四十六院を農學院として獨立、北京大學第二百四十七院を工學院として獨立、北京大學第二百四十八院を藝術學院として獨立、北京大學第二百四十九院を師範學院として獨立、北京大學第二百五十院を文學院として獨立、北京大學第二百五十一院を理學院として獨立、北京大學第二百五十二院を法學院として獨立、北京大學第二百五十三院を醫學院として獨立、北京大學第二百五十四院を農學院として獨立、北京大學第二百五十五院を工學院として獨立、北京大學第二百五十六院を藝術學院として獨立、北京大學第二百五十七院を師範學院として獨立、北京大學第二百五十八院を文學院として獨立、北京大學第二百五十九院を理學院として獨立、北京大學第二百六十院を法學院として獨立、北京大學第二百六十一院を醫學院として獨立、北京大學第二百六十二院を農學院として獨立、北京大學第二百六十三院を工學院として獨立、北京大學第二百六十四院を藝術學院として獨立、北京大學第二百六十五院を師範學院として獨立、北京大學第二百六十六院を文學院として獨立、北京大學第二百六十七院を理學院として獨立、北京大學第二百六十八院を法學院として獨立、北京大學第二百六十九院を醫學院として獨立、北京大學第二百七十院を農學院として獨立、北京大學第二百七十一院を工學院として獨立、北京大學第二百七十二院を藝術學院として獨立、北京大學第二百七十三院を師範學院として獨立、北京大學第二百七十四院を文學院として獨立、北京大學第二百七十五院を理學院として獨立、北京大學第二百七十六院を法學院として獨立、北京大學第二百七十七院を醫學院として獨立、北京大學第二百七十八院を農學院として獨立、北京大學第二百七十九院を工學院として獨立、北京大學第二百八十院を藝術學院として獨立、北京大學第二百八十一院を師範學院として獨立、北京大學第二百八十二院を文學院として獨立、北京大學第二百八十三院を理學院として獨立、北京大學第二百八十四院を法學院として獨立、北京大學第二百八十五院を醫學院として獨立、北京大學第二百八十六院を農學院として獨立、北京大學第二百八十七院を工學院として獨立、北京大學第二百八十八院を藝術學院として獨立、北京大學第二百八十九院を師範學院として獨立、北京大學第二百九十院を文學院として獨立、北京大學第二百九十一院を理學院として獨立、北京大學第二百九十二院を法學院として獨立、北京大學第二百九十三院を醫學院として獨立、北京大學第二百九十四院を農學院として獨立、北京大學第二百九十五院を工學院として獨立、北京大學第二百九十六院を藝術學院として獨立、北京大學第二百九十七院を師範學院として獨立、北京大學第二百九十八院を文學院として獨立、北京大學第二百九十九院を理學院として獨立、北京大學第三百院を法學院として獨立、北京大學第三百一院を醫學院として獨立、北京大學第三百二院を農學院として獨立、北京大學第三百三院を工學院として獨立、北京大學第三百四院を藝術學院として獨立、北京大學第三百五院を師範學院として獨立、北京大學第三百六院を文學院として獨立、北京大學第三百七院を理學院として獨立、北京大學第三百八院を法學院として獨立、北京大學第三百九院を醫學院として獨立、北京大學第三百十院を農學院として獨立、北京大學第三百十一院を工學院として獨立、北京大學第三百十二院を藝術學院として獨立、北京大學第三百十三院を師範學院として獨立、北京大學第三百十四院を文學院として獨立、北京大學第三百十五院を理學院として獨立、北京大學第三百十六院を法學院として獨立、北京大學第三百十七院を醫學院として獨立、北京大學第三百十八院を農學院として獨立、北京大學第三百十九院を工學院として獨立、北京大學第三百二十院を藝術學院として獨立、北京大學第三百二十一院を師範學院として獨立、北京大學第三百二十二院を文學院として獨立、北京大學第三百二十三院を理學院として獨立、北京大學第三百二十四院を法學院として獨立、北京大學第三百二十五院を醫學院として獨立、北京大學第三百二十六院を農學院として獨立、北京大學第三百二十七院を工學院として獨立、北京大學第三百二十八院を藝術學院として獨立、北京大學第三百二十九院を師範學院として獨立、北京大學第三百三十院を文學院として獨立、北京大學第三百三十一院を理學院として獨立、北京大學第三百三十二院を法學院として獨立、北京大學第三百三十三院を醫學院として獨立、北京大學第三百三十四院を農學院として獨立、北京大學第三百三十五院を工學院として獨立、北京大學第三百三十六院を藝術學院として獨立、北京大學第三百三十七院を師範學院として獨立、北京大學第三百三十八院を文學院として獨立、北京大學第三百三十九院を理學院として獨立、北京大學第三百四十院を法學院として獨立、北京大學第三百四十一院を醫學院として獨立、北京大學第三百四十二院を農學院として獨立、北京大學第三百四十三院を工學院として獨立、北京大學第三百四十四院を藝術學院として獨立、北京大學第三百四十五院を師範學院として獨立、北京大學第三百四十六院を文學院として獨立、北京大學第三百四十七院を理學院として獨立、北京大學第三百四十八院を法學院として獨立、北京大學第三百四十九院を醫學院として獨立、北京大學第三百五十院を農學院として獨立、北京大學第三百五十一院を工學院として獨立、北京大學第三百五十二院を藝術學院として獨立、北京大學第三百五十三院を師範學院として獨立、北京大學第三百五十四院を文學院として獨立、北京大學第三百五十五院を理學院として獨立、北京大學第三百五十六院を法學院として獨立、北京大學第三百五十七院を醫學院として獨立、北京大學第三百五十八院を農學院として獨立、北京大學第三百五十九院を工學院として獨立、北京大學第三百六十院を藝術學院として獨立、北京大學第三百六十一院を師範學院として獨立、北京大學第三百六十二院を文學院として獨立、北京大學第三百六十三院を理學院として獨立、北京大學第三百六十四院を法學院として獨立、北京大學第三百六十五院を醫學院として獨立、北京大學第三百六十六院を農學院として獨立、北京大學第三百六十七院を工學院として獨立、北京大學第三百六十八院を藝術學院として獨立、北京大學第三百六十九院を師範學院として獨立、北京大學第三百七十院を文學院として獨立、北京大學第三百七十一院を理學院として獨立、北京大學第三百七十二院を法學院として獨立、北京大學第三百七十三院を醫學院として獨立、北京大學第三百七十四院を農學院として獨立、北京大學第三百七十五院を工學院として獨立、北京大學第三百七十六院を藝術學院として獨立、北京大學第三百七十七院を師範學院として獨立、北京大學第三百七十八院を文學院として獨立、北京大學第三百七十九院を理學院として獨立、北京大學第三百八十院を法學院として獨立、北京大學第三百八十一院を醫學院として獨立、北京大學第三百八十二院を農學院として獨立、北京大學第三百八十三院を工學院として獨立、北京大學第三百八十四院を藝術學院として獨立、北京大學第三百八十五院を師範學院として獨立、北京大學第三百八十六院を文學院として獨立、北京大學第三百八十七院を理學院として獨立、北京大學第三百八十八院を法學院として獨立、北京大學第三百八十九院を醫學院として獨立、北京大學第三百九十院を農學院として獨立、北京大學第三百九十一院を工學院として獨立、北京大學第三百九十二院を藝術學院として獨立、北京大學第三百九十三院を師範學院として獨立、北京大學第三百九十四院を文學院として獨立、北京大學第三百九十五院を理學院として獨立、北京大學第三百九十六院を法學院として獨立、北京大學第三百九十七院を醫學院として獨立、北京大學第三百九十八院を農學院として獨立、北京大學第三百九十九院を工學院として獨立、北京大學第四百院を藝術學院として獨立、北京大學第四百一院を師範學院として獨立、北京大學第四百二院を文學院として獨立、北京大學第四百三院を理學院として獨立、北京大學第四百四院を法學院として獨立、北京大學第四百五院を醫學院として獨立、北京大學第四百六院を農學院として獨立、北京大學第四百七院を工學院として獨立、北京大學第四百八院を藝術學院として獨立、北京大學第四百九院を師範學院として獨立、北京大學第四百十院を文學院として獨立、北京大學第四百十一院を理學院として獨立、北京大學第四百十二院を法學院として獨立、北京大學第四百十三院を醫學院として獨立、北京大學第四百十四院を農學院として獨立、北京大學第四百十五院を工學院として獨立、北京大學第四百十六院を藝術學院として獨立、北京大學第四百十七院を師範學院として獨立、北京大學第四百十八院を文學院として獨立、北京大學第四百十九院を理學院として獨立、北京大學第四百二十院を法學院として獨立、北京大學第四百二十一院を醫學院として獨立、北京大學第四百二十二院を農學院として獨立、北京大學第四百二十三院を工學院として獨立、北京大學第四百二十四院を藝術學院として獨立、北京大學第四百二十五院を師範學院として獨立、北京大學第四百二十六院を文學院として獨立、北京大學第四百二十七院を理學院として獨立、北京大學第四百二十八院を法學院として獨立、北京大學第四百二十九院を醫學院として獨立、北京大學第四百三十院を農學院として獨立、北京大學第四百三十一院を工學院として獨立、北京大學第四百三十二院を藝術學院として獨立、北京大學第四百三十三院を師範學院として獨立、北京大學第四百三十四院を文學院として獨立、北京大學第四百三十五院を理學院として獨立、北京大學第四百三十六院を法學院として獨立、北京大學第四百三十七院を醫學院として獨立、北京大學第四百三十八院を農學院として獨立、北京大學第四百三十九院を工學院として獨立、北京大學第四百四十院を藝術學院として獨立、北京大學第四百四十一院を師範學院として獨立、北京大學第四百四十二院を文學院として獨立、北京大學第四百四十三院を理學院として獨立、北京大學第四百四十四院を法學院として獨立、北京大學第四百四十五院を醫學院として獨立、北京大學第四百四十六院を農學院として獨立、北京大學第四百四十七院を工學院として獨立、北京大學第四百四十八院を藝術學院として獨立、北京大學第四百四十九院を師範學院として獨立、北京大學第四百五十院を文學院として獨立、北京大學第四百五十一院を理學院として獨立、北京大學第四百五十二院を法學院として獨立、北京大學第四百五十三院を醫學院として獨立、北京大學第四百五十四院を農學院として獨立、北京大學第四百五十五院を工學院として獨立、北京大學第四百五十六院を藝術學院として獨立、北京大學第四百五十七院を師範學院として獨立、北京大學第四百五十八院を文學院として獨立、北京大學第四百五十九院を理學院として獨立、北京大學第四百六十院を法學院として獨立、北京大學第四百六十一院を醫學院として獨立、北京大學第四百六十二院を農學院として獨立、北京大學第四百六十三院を工學院として獨立、北京大學第四百六十四院を藝術學院として獨立、北京大學第四百六十五院を師範學院として獨立、北京大學第四百六十六院を文學院として獨立、北京大學第四百六十七院を理學院として獨立、北京大學第四百六十八院を法學院として獨立、北京大學第四百六十九院を醫學院として獨立、北京大學第四百七十院を農學院として獨立、北京大學第四百七十一院を工學院として獨立、北京大學第四百七十二院を藝術學院として獨立、北京大學第四百七十三院を師範學院として獨立、北京大學第四百七十四院を文學院として獨立、北京大學第四百七十五院を理學院として獨立、北京大學第四百七十六院を法學院として獨立、北京大學第四百七十七院を醫學院として獨立、北京大學第四百七十八院を農學院として獨立、北京大學第四百七十九院を工學院として獨立、北京大學第四百八十院を藝術學院として獨立、北京大學第四百八十一院を師範學院として獨立、北京大學第四百八十二院を文學院として獨立、北京大學第四百八十三院を理學院として獨立、北京大學第四百八十四院を法學院として獨立、北京大學第四百八十五院を醫學院として獨立、北京大學第四百八十六院を農學院として獨立、北京大學第四百八十七院を工學院として獨立、北京大學第四百八十八院を藝術學院として獨立、北京大學第四百八十九院を師範學院として獨立、北京大學第四百九十院を文學院として獨立、北京大學第四百九十一院を理學院として獨立、北京大學第四百九十二院を法學院として獨立、北京大學第四百九十三院を醫學院として獨立、北京大學第四百九十四院を農學院として獨立、北京大學第四百九十五院を工學院として獨立、北京大學第四百九十六院を藝術學院として獨立、北京大學第四百九十七院を師範學院として獨立、北京大學第四百九十八院を文學院として獨立、北京大學第四百九十九院を理學院として獨立、北京大學第五百院を法學院として獨立、北京大學第五百一院を醫學院として獨立、北京大學第五百二院を農學院として獨立、北京大學第五百三院を工學院として獨立、北京大學第五百四院を藝術學院として獨立、北京大學第五百五院を師範學院として獨立、北京大學第五百六院を文學院として獨立、北京大學第五百七院を理學院として獨立、北京大學第五百八院を法學院として獨立、北京大學第五百九院を醫學院として獨立、北京大學第五百十院を農學院として獨立、北京大學第五百十一院を工學院として獨立、北京大學第五百十二院を藝術學院として獨立、北京大學第五百十三院を師範學院として獨立、北京大學第五百十四院を文學院として獨立、北京大學第五百十五院を理學院として獨立、北京大學第五百十六院を法學院として獨立、北京大學第五百十七院を醫學院として獨立、北京大學第五百十八院を農學院として獨立、北京大學第五百十九院を工學院として獨立、北京大學第五百二十院を藝術學院として獨立、北京大學第五百二十一院を師範學院として獨立、北京大學第五百二十二院を文學院として獨立、北京大學第五百二十三院を理學院として獨立、北京大學第五百二十四院を法學院として獨立、北京大學第五百二十五院を醫學院として獨立、北京大學第五百二十六院を農學院として獨立、北京大學第五百二十七院を工學院として獨立、北京大學第五百二十八院を藝術學院として獨立、北京大學第五百二十九院を師範學院として獨立、北京大學第五百三十院を文學院として獨立、北京大學第五百三十一院を理學院として獨立、北京大學第五百三十二院を法學院として獨立、北京大學第五百三十三院を醫學院として獨立、北京大學第五百三十四院を農學院として獨立、北京大學第五百三十五院を工學院として獨立、北京大學第五百三十六院を藝術學院として獨立、北京大學第五百三十七院を師範學院として獨立、北京大學第五百三十八院を文學院として獨立、北京大學第五百三十九院を理學院として獨立、北京大學第五百四十院を法學院として獨立、北京大學第五百四十一院を醫學院として獨立、北京大學第五百四十二院を農學院として獨立、北京大學第五百四十三院を工學院として獨立、北京大學第五百四十四院を藝術學院として獨立、北京大學第五百四十五院を師範學院として獨立、北京大學第五百四十六院を文學院として獨立、北京大學第五百四十七院を理學院として獨立、北京大學第五百四十八院を法學院として獨立、北京大學第五百四十九院を醫學院として獨立、北京大學第五百五十院を農學院として獨立、北京大學第五百五十一院を工學院として獨立、北京大學第五百五十二院を藝術學院として獨立、北京大學第五百五十三院を師範學院として獨立、北京大學第五百五十四院を文學院として獨立、北京大學第五百五十五院を理學院として獨立、北京大學第五百五十六院を法學院として獨立、北京大學第五百五十七院を醫學院として獨立、北京大學第五百五十八院を農學院として獨立、北京大學第五百五十九院を工學院として獨立、北京大學第五百六十院を藝術學院として獨立、北京大學第五百六十一院を師範學院として獨立、北京大學第五百六十二院を文學院として獨立、北京大學第五百六十三院を理學院として獨立、北京大學第五百六十四院を法學院として獨立、北京大學第五百六十五院を醫學院として獨立、北京大學第五百六十六院を農學院として獨立、北京大學第五百六十七院を工學院として獨立、北京大學第五百六十八院を藝術學院として獨立、北京大學第五百六十九院を師範學院として獨立、北京大學第五百七十院を文學院として獨立、北京大學第五百七十一院を理學院として獨立、北京大學第五百七十二院を法學院として獨立、北京大學第五百七十三院を醫學院として獨立、北京大學第五百七十四院を農學院として獨立、北京大學第五百七十五院を工學院として獨立、北京大學第五百七十六院を藝術學院として獨立、北京大學第五百七十七院を師範學院として獨立、北京大學第五百七十八院を文學院として獨立、北京大學第五百七十九院を理學院として獨立、北京大學第五百八十院を法學院として獨立、北京大學第五百八十一院を醫學院として獨立、北京大學第五百八十二院を農學院として獨立、北京大學第五百八十三院を工學院として獨立、北京大學第五百八十四院を藝術學院として獨立、北京大學第五百八十五院を師範學院として獨立、北京大學第五百八十六院を文學院として獨立、北京大學第五百八十七院を理學院として獨立、北京大學第五百八十八院を法學院として獨立、北京大學第五百八十九院を醫學院として獨立、北京大學第五百九十院を農學院として獨立、北京大學第五百九十一院を工學院として獨立、北京大學第五百九十二院を藝術學院として獨立、北京大學第五百九十三院を師範學院として獨立、北京大學第五百九十四院を文學院として獨立、北京大學第五百九十五院を理學院として獨立、北京大學第五百九十六院を法學院として獨立、北京大學第五百九十七院を醫學院として獨立、北京大學第五百九十八院を農學院として獨立、北京大學第五百九十九院を工學院として獨立、北京大學第六百院を藝術學院として獨立、北京大學第六百一院を師範學院として獨立、北京大學第六百二院を文學院として獨立、北京大學第六百三院を理學院として獨立、北京大學第六百四院を法學院として獨立、北京大學第六百五院を醫學院として獨立、北京大學第六百六院を農學院として獨立、北京大學第六百七院を工學院として獨立、北京大學第六百八院を藝術學院として獨立、北京大學第六百九院を師範學院として獨立、北京大學第六百十院を文學院として獨立、北京大學第六百十一院を理學院として獨立、北京大學第六百十二院を法學院として獨立、北京大學第六百十三院を醫學院として獨立、北京大學第六百十四院を農學院として獨立、北京大學第六百十五院を工學院として獨立、北京大學第六百十六院を藝術學院として獨立、北京大學第六百十七院を師範學院として獨立、北京大學第六百十八院を文學院として獨立、北京大學第六百十九院を理學院として獨立、北京大學第六百二十院を法學院として獨立、北京大學第六百二十一院を醫學院として獨立、北京大學第六百二十二院を農學院として獨立、北京大學第六百二十三院を工學院として獨立、北京大學第六百二十四院を藝術學院として獨立、北京大學第六百二十五院を師範學院として獨立、北京大學第六百二十六院を文學院として獨立、北京大學第六百二十七院を理學院として獨立、北京大學第六百二十八院を法學院として獨立、北京大學第六百二十九院を醫學院として獨立、北京大學第六百三十院を農學院として獨立、北京大學第六百三十一院を工學院として獨立、北京大學第六百三十二院を藝術學院として獨立、北京大學第六百三十三院を師範學院として獨立、北京大學第六百三十四院を文學院として獨立、北京大學第六百三十五院を理學院として獨立、北京大學第六百三十六院を法學院として獨立、北京大學第六百三十七院を醫學院として獨立、北京大學第六百三十八院を農學院として獨立、北京大學第六百三十九院を工學院として獨立、北京大學第六百四十院を藝術學院として獨立、北京大學第六百四十一院を師範學院として獨立、北京大學第六百四十二院を文學院として獨立、北京大學第六百四十三院を理學院として獨立、北京大學第六百四十四院を法學院として獨立、北京大學第六百四十五院を醫學院として獨立、北京大學第六百四十六院を農學院として獨立、北京大學第六百四十七院を工學院として獨立、北京大學第六百四十八院を藝術學院として獨立、北京大學第六百四十九院を師範學院として獨立、北京大學第六百五十院を文學院として獨立、北京大學第六百五十一院を理學院として獨立、北京大學第六百五十二院を法學院として獨立、北京大學第六百五十三院を醫學院として獨立、北京大學第六百五十四院を農學院として獨立、北京大學第六百五十五院を工學院として獨立、北京大學第六百五十六院を藝術學院として獨立、北京大學第六百五十七院を師範學院として獨立、北京大學第六百五十八院を文學院として獨立、北京大學第六百五十九院を理學院として獨立、北京大學第六百六十院を法學院として獨立、北京大學第六百六十一院を醫學院として獨立、北京大學第六百六十二院を農學院として獨立、北京大學第六百六十三院を工學院として獨立、北京大學第六百六十四院を藝術學院として獨立、北京大學第六百六十五院を師範學院として獨立、北京大學第六百六十六院を文學院として獨立、北京大學第六百六十七院を理學院として獨立、北京大學第六百六十八院を法學院として獨立、北京大學第六百六十九院を醫學院として獨立、北京大學第六百七十院を農學院として獨立、北京大學第六百七十一院を工學院として獨立、北京大學第六百七十二院を藝術學院として獨立、北京大學第六百七十三院を師範學院として獨立、北京大學第六百七十四院を文學院として獨立、北京大學第六百七十五院を理學院として獨立、北京大學第六百七十六院を法學院として獨立、北京大學第六百七十七院を醫學院として獨立、北京大學第六百七十八院を農學院として獨立、北京大學第六百七十九院を工學院として獨立、北京大學第六百八十院を藝術學院として獨立、北京大學第六百八十一院を師範學院として獨立、北京大學第六百八十二院を文學院として獨立、北京大學第六百八十三院を理學院として獨立、北京大學第六百八十四院を法學院として獨立、北京大學第六百八十五院を醫學院として獨立、北京大學第六百八十六院を農學院として獨立、北京大學第六百八十七院を工學院として獨立、北京大學第六百八十八院を藝術學院として獨立、北京大學第六百八十九院を師範學院として獨立、北京大學第六百九十院を文學院として獨立、北京大學第六百九十一院を理學院として獨立、北京大學第六百九十二院を法學院として獨立、北京大學第六百九十三院を醫學院として獨立、北京大學第六百九十四院を農學院として獨立、北京大學第六百九十五院を工學院として獨立、北京大學第六百九十六院を藝術學院として獨立、北京大學第六百九十七院を師範學院として獨立、北京大學第六百九十八院を文學院として獨立、北京大學第六百九十九院を理學院として獨立、北京大學第七百院を法學院として獨立、北京大學第七百一院を醫學院として獨立、北京大學第七百二院を農學院として獨立、北京大學第七百三院を工學院として獨立、北京大學第七百四院を藝術學院として獨立、北京大學第七百五院を師範學院として獨立、北京大學第七百六院を文學院として獨立、北京大學第七百七院を理學院として獨立、北京大學第七百八院を法學院として獨立、北京大學第七百九院を醫學院として獨立、北京大學第七百十院を農學院として獨立、北京大學第七百十一院を工學院として獨立、北京大學第七百十二院を藝術學院として獨立、北京大學第七百十三院を師範學院として獨立、北京大學第七百十四院を文學院として獨立、北京大學第七百十五院を理學院として獨立、北京大學第七百十六院を法學院として獨立、北京大學第七百十七院を醫學院として獨立、北京大學第七百十八院を農學院として獨立、北京大學第七百十九院を工學院として獨立、北京大學第七百二十院を藝術學院として獨立、北京大學第七百二十一院を師範學院として獨立、北京大學第七百二十二院を文學院として獨立、北京大學第七百二十三院を理學院として獨立、北京大學第七百二十四院を法學院として獨立、北京大學第七百二十五院を醫學院として獨立、北京大學第七百二十六院を農學院として獨立、北京大學第七百二十七院を工學院として獨立、北京大學第七百二十八院を藝術學院として獨立、北京大學第七百二十九院を師範學院として獨立、北京大學第七百三十院を文學院として獨立、北京大學第七百三十一院を理學院として獨立、北京大學第七百三十二院を法學院として獨立、北京大學第七百三十三院を醫學院として獨立、北京大學第七百三十四院を農學院として獨立、北京大學第七百三十五院を工學院として獨立、北京大學第七百三十六院を藝術學院として獨立、北京大學第七百三十七院を師範學院として獨立、北京大學第七百三十八院を文學院として獨立、北京大學第七百三十九院を理學院として獨立、北京大學第七百四十院を法學院として獨立、北京大學第七百四十一院を醫學院として獨立、北京大學第七百四十二院を農學院として獨立、北京大學第七百四十三院を工學院として獨立、北京大學第七百四十四院を藝術學院として獨立、北京大學第七百四十五院を師範學院として獨立、北京大學第七百四十六院を文學院として獨立、北京大學第七百四十七院を理學院として獨立、北京大學第七百四十八院を法學院として獨立、北京大學第七百四十九院を醫學院として獨立、北京大學第七百五十院を農學院として獨立、北京大學第七百五十一院を工學院として獨立、北京大學第七百五十二院を藝術學院として獨立、北京大學第七百五十三院を師範學院として獨立、北京大學第七百五十四院を文學院として獨立、北京大學第七百五十五院を理學院として獨立、北京大學第七百五十六院を法學院として獨立、北京大學第七百五十七院を醫學院として獨立、北京大學第七百五十八院を農學院として獨立、北京大學第七百五十九院を工學院として獨立、北京大學第七百六十院を藝術

全支を有機的に結ぶ 政治體制確立へ

政治建設第二期に入る

擧國一致態勢における現地の政治體制には、二つの時期に分けることが出來る。一はその前半期、治安維持による臨時治安維持の時期であり、他の一は後半期新政府の樹立による確固久的體制による政治建設の時代である。

この兩時期を通じ目的たる國民政府とその眞の統一といふ點に滑りて行はれたことにおいては飽くまでこれを堅持してゐる。只前半期は單なる治安維持がその主要な任務であつたに比し、後半期は更に擧國の團結としての政治體制として出現してゐることに相違がある。

×

北支、中支、華南の各政權は將來政權樹立の眞行動體内に發足し發足の際からそれら政權は政權組織に對し平等の運命を担つてゐるところの政治的團體として發足するとも云ひ得るわけだ。從つて將來政權が擴大するか、しないかによつて新政權の新しき構想を持つために何らかの變化が加へられねばならない。即ち新政權がおかれの進展的進行作態によつて擴大せんがある、新政權の統合が中樞政治機關の新編成における問題として切實に攻究されねばならない

×

北支、中支、華南各政權の合流問題に就いては種々困難があり未だ確實なるものとして確まつてはゐないが、遠くとも次きのことだけは明白である。即ち

一、現實なる國土と國多の人民を有するこの國の統治は當然ありされ形式を以てしては困難であること

二、南北に調進せず、東西兩信書を通にする廣大なる區域はむしろこれを單一政府の下に統一せんよりもその地方々に自治性を與へた上、その地域内に組織した政治を施すことが最適に即したものであること

三、擧句の果は 相互虐殺の悲劇か

張群・陳立夫對陳誠の相剋

支那一官吏の手記

國共合作二段化

國家社會黨擡頭

國共二黨の合作は、國民參議會第一屆大會に於ける國民黨の代表團の提案に對し、共產黨の代表團が、これに反對し、國民黨は將來合作の一段階にすぎないと主張したことに依つて、この眞相を知ることが出來る。即ち國民黨は共產黨を以て一時的にでも政權すべく、自己獨裁の體制と非常事態を以て、國家社會黨の擡頭を抑壓しようとしてゐるのである。

一方共產黨は新體制として、CC團と共に新たなる國民黨の指導權、及び中國國民黨、國家社會黨の指導權に絡んでの抗爭を展開し、政治的には國民黨政治と共產黨の統一戰線の結成に依つて新たなる將來合作ラインを築き、日本の進攻を阻止することに努めた。

國民黨内部に於ける對立は、國民參議會の開催を契機として、CC團と中國國民黨、及び中國國民黨、國家社會黨の指導權、及び中國國民黨、國家社會黨の指導權に絡んでの抗爭を展開し、政治的には國民黨政治と共產黨の統一戰線の結成に依つて新たなる將來合作ラインを築き、日本の進攻を阻止することに努めた。

一方共產黨は新體制として、CC團と共に新たなる國民